



掃除をすると人生が変わる！

みなさんは、掃除は好きですか。即答で「好き」と答えられたあなたは、素晴らしい。「するのがめんどくさい」とか、「だれかがやってくれたらなあ」と思っている人がかなりいるのではないのでしょうか。でも、そんなあなたも、掃除が大事なことはわかっていることでしょうか。だって、掃除をしないと、物やごみが散らかり放題になってしまいます。人は誰だってきれいに片付いているほうが好きなのですから。

学校での掃除時間の様子を見ると、10分間しっかり掃除をしている人もいれば、自分の場所が終わったら何もせずダラダラしている人、中には、掃除場所に行かずうろろしている人もいます。誰かがしてくれるからやらなくていい、と思っている人は、実は、結構、損をしているかもしれません。

『なぜ「そうじ」をすると、人生が変わるのか』という本には、次のようなことが書かれています。ビジネスマン向けの本ですが、社会人になっても、掃除は大切だということを教えてくれています。

ゴミを1つ捨てる者は、大切な何かを1つ捨てている。ゴミを1つ捨てる者は、大切な何かを1つ拾っている。すべては、たった1つからはじまる。その意味で、「0と1の差」は1ではなく、実はとてつもなく大きい。

「仕事とは気づき」であること。気づきをたくさんするためにはそうじをなさい。そうすると今まで見えてこなかったものが見えてくる。しいては、お客様が何を欲しているか、何を望んでいるか、声をかけられる前に「考えて気づく」というより、クセが身につく。そうじとは、「気づき」を教えてくれる最も安上がりで、最も簡単なトレーニングである。

誰かが見ているから仕事をするのではない。自分が見てるから、自分が納得するように仕事をする。

1つのことをやり続けることの大切さ。辛抱することやバカになって物事に打ち込むこと。能率、効率を上げるために工夫すること。そして、やり続けた先にある、もっともっと大きなことがある。

あれこれ考えるよりも、まず自分が行動を起こすこと。誰がやったのか、誰の責任なのか、そんなことを考えているよりも、まず自分が行動を起こすこと。

「人の喜ぶ顔を見るのはパワーにやる」ということは、人のためといいながら、実は「自分のため」なんですね。してやってるんじゃない。させていただいている。

物事は全て「一事が万事」。あなたの行っている1つの行動を見るだけで、あなたのすべての行動がわかる。

掃除をすると、気づきが多くなる。人が喜んでくれる。それは、人のためではなくて、実は自分のためでもある。みなさんも、今日から少し意識して掃除をしてみてください。人生が、少し変わってきますから。

詫中人権スローガン決定！

11月6日の全校集会で、詫中人権スローガンが発表されました。意味をかみしめ、大切にしていこう。



（宮下会長の言葉から）人権スローガン作成に協力していただきありがとうございました。各クラスのスローガンを中央委員会などで話し合った結果、1年1組に出してもらった「踏みだそう！君の勇気が明日を変える」になりました。これは「少しの勇気」をみんなが持ち、友だちと関わっていくことで、ただ黙って見ているだけの人がなくなり、いじめを未然に防止したり、困っていたり悩んでいたりを助けることができ、「明日」が大きく変わり、みんなが楽しい学校生活を送れるようになることを意味しています。よりよい学校をつくっていくためにも、一人ひとりが「勇気」を持って、正しく行動していきましょう。